

平成29年度第4回若葉区支え合いのまち推進協議会議事要旨

1 日 時 平成30年3月15日（木）10時00分～12時00分

2 場 所 若葉保健福祉センター3階 大会議室

3 出席者

(1) 委員 赤間委員、市原委員、小川委員、大嶋委員、尾出委員、尾崎委員、角田委員
加藤委員、菊次委員、立野委員、田中（要）委員、田中（由）委員、津田委員
鶴岡委員、錦織委員、縫部委員、畑委員、東田委員、布施委員、真鍋委員
山内委員、和田委員

(2) 事務局 石原保健福祉センター所長、岡本地域づくり支援室長、
萩原高齢障害支援課補佐、田中高齢障害支援課主査、黒木地域福祉課主査
鈴木社協区事務所主査補、丹下高齢障害支援課主任主事
島野地域福祉課主任主事

4 議 題

- (1) 平成29年度の活動報告について
- (2) 次期委員の改選について

5 報告事項

- (1) 区支え合いのまち推進計画に係る推進状況の調査について
- (2) 支え合いのまち千葉推進計画（第4期千葉市地域福祉計画）について

6 議事の概要

- (1) 平成29年度の活動報告について
各地区部会エリア委員から説明した。
- (2) 次期委員の改選について
高齢障害支援課 田中主査より説明した。
- (3) 報告事項（1）区支え合いのまち推進計画に係る推進状況の調査について
高齢障害支援課 田中主査より説明した。
- (4) 報告事項（2）支え合いのまち千葉推進計画（第4期千葉市地域福祉計画）について
高齢福祉課 黒木主査より説明した。

7 会議経過

- (1) 開会（事務局）
- (2) 開会挨拶（津田委員長）
- (3) 議事

○委員長

それでは議題（1）平成29年度の活動報告について、各地区部会エリア委員より活動報告をお願いしたい。

○坂月地区部会エリア

坂月地区部会エリアの地域ぐるみで声かけ・あいさつ運動の取組では、ラジオ体操の実施会場を増やす取組では、従来実施の坂月台ラジオ体操（会場：坂月小学校）に加え、小倉町ラジオ体操が1か所増え、合計2か所となった。

地域でできる介護予防・健康づくりの取組では、「歩こう会」を2回、「グランドゴルフ大会」を1回実施した。

防犯活動の取組では、セーフティウォッチャーを全員でやり遂げたかったが、松戸市に於ける事件が想像され、一歩引けてしまい実行できなかった。

○貝塚地区部会エリア

貝塚地区部会エリアの地域ぐるみで声かけ・あいさつ運動の取組では、小学生の登下校の見守りを昨年度同様行ったが、人員増・見守り場所の増加は出来なかった。協力者を増やす為には、小学校とも相談してPTAやその同居、高齢者で元気な方を集める方法を検討したい。

福祉施設や地域行事でのふれあい交流活動の取組では、10年続けている芋煮会・健康セミナーの充実を図るため、ジャズ演奏会を加えた。

○桜木地区部会エリア

桜木地区部会エリアの子育てしやすい環境づくりの取組では、ふれあい子育てサロンへの参加者を増やすため、年度初めに各自治会へチラシを回覧。若葉区CBTや子育てフェスタ等のイベントにて、子育てサロンのチラシを配布した。今後更なる推進のため、開催回数を増やしたい。

福祉施設や地域行事でのふれあい交流活動の取組では、今年度も75歳以上のひとり暮らしの高齢者を対象に、ふれあい食事会を開催した。また、以前は桜木公民館で開催していたが、貝塚中学校体育館に変更した。

○小倉台地区部会エリア

小倉台地区部会エリアの気軽に過ごせる居場所づくりの取組では、「ふれあい・いきいきサロン」を例年どおり月1回、運営委員会の企画会議を年1回開催、その他毎月サロン開催後に反省会及び翌月の内容などを話しあった。

見守り活動の仕組みづくりの取組では、安心カードを作成し、民生委員の協力で75歳以上の世帯へ配布。若葉消防署へ配布したことを報告した。

○白井地区部会エリア

白井地区部会エリアの防災・減災活動の取組では、18自治会のうち自主防災組織が組織化されているのは、8自治会と半数未満であるため、各自治会が自主防災組織を立ち上げることを目標にして10自治会となった。

地域福祉に関する情報の発信の取組では、地区部会だよりを年3回、記事はカラーで、写真を多用し見やすい紙面づくりを継続できた。

○更科地区部会エリア

更科地区部会エリアの地域ぐるみで声かけ・あいさつ運動の取組では、地域社会の連携・絆が希薄化しているため、「隣組」の歌にのせた支え合いのまち推進計画の周知啓発用のCDを敬老会及び凧揚げ大会実施日に流した。

気軽に過ごせる居場所づくりの取組では、「ふれあい・いきいきサロン」を毎月1回更科公民館で実施できた。課題としては、参加者の中から活動の担い手を増やしたい。

○御成台、千城台西・北地区部会エリア

御成台、千城台西・北地区部会エリアの子育てしやすい環境づくりの取組では、「赤ちゃんと季節のイベント」をテーマに写真撮影をしながら親同士の交流の場として、3か月ごとに1回、年4回実施した。

地域でできる介護予防・健康づくりの取組では、各自治会が健康促進のため事業化へ向けたサポートをするため、健康長寿の啓もう活動「社協だより」を活用し、介護予防を主題に連載。

地区部会事業を利用し、健康づくりイベント・勉強会を随時実施した。

支えあう仕組みをつくる取組では、千城台東南・金親地区部会と共同で、11月に「医師による講演会」、12月と3月「健康づくり勉強会」を開催した。

○千城台東南・金親地区部会エリア

千城台東南・金親地区部会エリアの気軽に過ごせる居場所づくりの取組では、サロンを開催しており、参加人数を増やす活動を実施。民生委員・児童委員の5月の高齢者実態調査時に「ふれあいいきいきサロン」お誘いのチラシの手渡し、声かけをした。

活動団体同士の連携・交流の取組では、地域ケア会議を隣接する御成台、千城台西・北地区部会と合同で年1回開催し、当地区エリアにおいても年1回開催する目標のもと、医師の講演会を実施。

災害時に避難できる体制づくりの取組では、今年度も未実施の避難所開設訓練の実施、協力ができた。

○26地区部会エリア

26地区部会エリアの公園やサークル活動を利用した交流機会の創出の取組では、ラジオ体操を全組織で実施できた。グランドゴルフは高齢者だけでなく、中学生が入ったことで、孫と同じくらいの年齢とも交流する楽しい機会となり年2回の計画目標を達成できた。

地域でできる介護予防・健康づくりの取組では、安否確認電話・高齢者見守りネットワーク・買い物支援など概ね達成できた。

防犯活動の実施の取組では、防災活動の内容の違いはあるが、全8自治会が実施した。

○若松地区部会エリア

若松地区部会エリアの子育てしやすい環境づくりの取組では、昨年同様、若松町北部自治会集会所・若松台3丁目自治会館での「ふれあい子育てサロン」を2ヶ月に1度開催できた。

気軽に過ごせる居場所づくりの取組では、ふれあい・いきいきサロンを若松町北部自治会集会所・若松町南部自治会館の2か所で開催できた。

○加曾利地区部会エリア

加曾利地区部会エリアの活動の中核となれる人材の発掘の取組では、「加曾利助け合いの会」にボランティア活動の研修会を実施（ことぶき大学生）、一般の方は市政だよりをみてなど、具体的な取り組みに参加してもらってメンバーを発掘した。

活動団体同志の連携・交流の取組では、社協として介護保険の制度外の地域ケア（地域支え合い型訪問・通所支援）についてどのように進めたらよいかなど、地域ケア会議を実施した。

○都賀地区部会エリア

都賀地区部会エリアの助け合い活動の仕組みづくりの取組では、30年3月に「ご近所だより・2号」を発行して以来、活動の展開について構想づくりに注力したが結果を出せなかった。

一方、自治会への啓蒙活動が奏功し、都賀の台や西都賀自治会においてボランティア組織による活動が具現化した。

見守り活動の仕組みづくりの取組では、都賀の台自治会による、「見守り・気づきのポイント18例」（1, 220世帯）を配布し、活動の協力を要請した。

○結・みつわ台地区部会エリア

結・みつわ台地区部会エリアの活動団体同士の連携・交流の取組では、地域ケア会議をエリア内の自治会、町内会、自治会組織のない管理組合等、併せて40組織を対象にほぼ一巡したことを踏まえ、今年度は「開催エネルギー」、「開催効果」を重視した。日程を日曜日とすることで仕事をしている人も参加出来るようにした。

課題としては、地区部会が、毎年各町内会等に呼びかけても反応が得難い以上に、役員が1年で総入れ替えすることによって、各町内会内部での趣旨共有が困難な状況であり、地区部会の意志を地域の人々に浸透し難い実態がある。

○委員長

ただいまの報告に対し、何か質問等があれば、発言をお願いしたい。

○委員

自治会組織、福祉活動推進委員、民生委員、日赤と私の地区では4つのグループ単位で定例会議がある。それぞれのグループで違うテーマをもとに会議が実施されており、目標が別々になってしまっている。地区部会で共通のテーマづくりが大切だと考える。

○委員長

地区部会エリアごとに共通するテーマが重点取組として出ていると考えられる。

また、それぞれの実施記録票を確認すると、目標を上回ったところと、下回ったところがある。要因は個々で違うが、自治会との連携、地道なPRが要点であると考ええる。

○委員

地域運営委員会に協力してほしいと地区部会に話しがきたが、自治会、民生委員、社会福祉協議会という組織があり、総まとめにするのは現状正直厳しい。各重点取組などを確実に積み重ねていくことが重要と考える。

○委員長

リーダーである皆さんが、今後もリーダーシップを発揮してほしい。

○委員長

次に議題（2）次期委員の改選について、事務局より説明をお願いしたい。

○事務局

各団体への推薦依頼は、原則として各種団体からの推薦とする。

また、若葉区では大学との事業連携を積極的に図っていること、既に学生ボランティアを人材活用している地区部会があり、今後一層ボランティアの活用を図ることから、今回新た

に地域連携に積極的に取り組んでいる植草学園大学、東京情報大学に委員の推薦を依頼しているところである。

なお、委員の公募は、前回から行っていないことから、今回も同様とする。

また、自治会との連携を強化するために、若葉区町内自治会連絡協議会理事会に対し、3名程度の推薦を依頼する。

○委員長

ただいまの報告に対し、何か質問等があれば、発言をお願いしたい。

(特になし)

○委員長

次に、報告事項（１）区支え合いのまち推進計画に係る推進状況の調査について、事務局より説明をお願いしたい。

○事務局

区支え合いのまち推進計画に係る推進状況の調査については、地域福祉課より依頼があり回答する。

内容としては、「地域福祉活動の好事例紹介」と、「若葉区支え合いのまち推進計画の推進状況（平成29年度）」である。各地区部会エリアから提出された、第3期若葉区支え合いのまち重点取組項目の実施結果記録票からまとめたものを回答する。

○委員長

ただいまの報告に対し、何か質問等があれば、発言をお願いしたい。

○委員

何か訂正等あるときのみ事務局に報告すれば良いのか。

○事務局

お見込みのとおり、訂正がある場合のみ事務局へ連絡ほしい。

○委員長

事務局から報告があった区支え合いのまち推進計画に係る推進状況の調査については、千葉市地域福祉課へ提出する。

○委員長

次に、報告事項（２）支え合いのまち千葉推進計画（第4期千葉市地域福祉計画）について高齢福祉課 黒木主査より説明をお願いしたい。

○黒木主査

支え合いのまち千葉推進計画（第4期千葉市地域福祉計画）策定作業にあたり、各区計画のとりまとめ等、多大なるお力添え御礼申し上げます。

第4期計画のポイントとしては、今後3年間で特に力を入れて取り組む重点施策として、個別の課題解決を通して地域に働きかける役割を担う「コミュニティーソーシャルワークの強化」を掲げ、コミュニティーソーシャルワーカーの増員及び育成を図るとともに、市と社協等も一体となり、地域の実情に応じて個別具体的に支援する体制をめざし、地域生活課題

を解決する地域力基礎強化の支援を図ることとしている。

○委員長

ただいまの報告に対し、何か質問等があれば、発言をお願いしたい。

○委員

コミュニティーソーシャルワーカーとは誰であるのか。

○事務局

社協にいるコミュニティーソーシャルワーカーである。

○委員

計画だけでは困る。自治会の方々への働きかけはあるのか。

○委員

私は町内自治会連絡協議会代表で参加しているが、町内連絡協議会の会議の中でも説明されている。

また、各自治会長が集まる会議に行政に来てもらい説明してもらっているので働きはあると考える。

○委員長

他になければ、本日の議題はこれで終了する。

○事務局

本日の会議の議事要旨は約1か月後、市のホームページに掲載を予定している。

次回の開催日程は、平成30年6月中旬を予定。

以上で、第4回若葉区支え合いのまち推進協議会を終了する。